

砂防だより



年頭の御挨拶	2
2024年しすおかの砂防10大ニュース	
令和6年度 補正予算成立	3
全国治水砂防促進大会及び支部要望活動	4
市町長等砂防関係事業県外視察	5
令和6年の土砂災害の発生状況	6
災害関連緊急事業の採択状況(台風第10号)	7
土砂災害防止施設の施設効果	
須藤秀忠支部長(富士宮市長)が中部地方整備局長表彰を受賞!!	8
市町等砂防担当職員現場研修を開催	
わがまち(沼津市)	9
歴史探訪 災害関連緊急事業	
インフォメーション	10
お知らせ	12

速報 令和6年度 補正予算成立

特集 全国治水砂防促進大会
及び支部要望活動
市町長等砂防関係事業県外視察

総括 令和6年の 土砂災害の発生状況

年頭の御挨拶



全国治水砂防協会静岡県支部
支部長 須藤 秀忠

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

会員をはじめ関係者の皆様におかれましては、日頃から当支部の活動に対し、多大なる御支援と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、全国では約1,300件の土砂災害が発生し、特に元日に発生した能登半島地震では、輪島市などで震度7を記録し、石川県を中心に400件を超える土砂災害が発生、同じ能登半島では9月の線状降水帯による豪雨により約300件の土砂災害が発生しました。また、九州地方をはじめ、本県や神奈川県、愛知県など広範囲で大雨となった9月初旬の台風第10号などにより、多くの土砂災害が発生しました。

本県におきましては、幸いにも人的被害はありませんでしたが、台風第10号等により全国で2番目に多い86件の土砂災害が発生し、住宅半壊2戸と一部損壊3戸の被害が生じました。

これらの土砂災害のうち、土石流が発生した静岡市葵区慈悲尾、がけ崩れが発生した静岡市葵区内牧、熱海市西熱海町及び熱海市下多賀の4箇所については、県当局の迅速な対応により再度災害を防止する災害関連緊急事業に採択されたと伺っており、地域住民の安全確保のため早期の工事完了を期待しております。

土砂災害を防止するためには、国・県による土砂災害防止施設の更なる整備とともに、日頃からの住民の防災意識の向上や豪雨等で危険性が高まった際の実効性のある避難体制の構築が重要です。

そのためには、令和6年3月に県が公表した9,047箇所の土砂災害警戒区域の候補箇所の指定を進めるとともに、土砂災害警戒区域標識の設置や、市町によるハザードマップの作成・配布、土砂災害警戒情報による住民への適時適切な避難情報の伝達など、早めの避難を促すソフト対策を一層充実・強化することが重要です。

激甚化・頻発化する土砂災害に対して、国においては「国土強靱化実施中期計画」を早期に策定していただくとともに、「土砂災害による死者数毎年度0人」を目標に、引き続き県と連携し、地域の安全・安心を確保できるよう砂防関係事業の普及・発展に努めてまいります。会員の皆様におかれましても、より一層の御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、平穏な年であるよう祈念して、年頭の御挨拶とさせていただきます。

2024年 しずおかの砂防 10 大ニュース

台風第10号で発生した土砂災害4箇所が災害関連緊急事業が採択

台風第10号により、静岡市で発生した土石流とがけ崩れ、熱海市で発生したがけ崩れ2箇所に対して、災害関連緊急事業(約5億円)が採択され、緊急的に砂防堰堤等を整備します。



慈悲尾東上沢
(静岡市葵区慈悲尾)



下多賀大縄
(熱海市下多賀)

台風第10号により、県内46箇所で土砂災害が発生

8月～9月の台風第10号では、県内で土砂災害が46箇所(土石流等9箇所、地すべり1箇所、がけ崩れ36箇所)が発生し、住宅半壊1戸、一部損壊2戸など著しい被害が生じました。



西熱海町
(熱海市西熱海町)



内牧内宮A
(静岡市葵区内牧)

土砂災害警戒区域等の候補箇所を新たに9,047箇所抽出し、R6年3月に公表

3次元点群データを活用して土砂災害警戒区域等の候補箇所を調査したところ、新たに9,047箇所を抽出しました。土砂災害に対する警戒避難の参考にしていたために、候補箇所を令和6年3月に公表しました。



七夕豪雨災害から50年、「あの土砂災害を自分事に」のシンポジウムを開催

44名が犠牲(土砂災害は35名)となった七夕豪雨から50年の節目となる今年、7月6日にグランシップ(静岡市)で、七夕豪雨災害を伝え、学び、一人ひとりができることは何かを考える「流域治水シンポジウム」を開催しました。当日は約400名が参加し、災害を自分事として捉えていただく機会となりました。



須藤支部長(富士宮市長)が中部地方整備局長表彰を受賞!

当協会の須藤支部長(富士宮市)が7月16日(火)に中部地方整備局の建設事業関係功労者表彰(局長表彰)を受賞しました。須藤市長は、平成23年の市長当選後、富士山治水期成同盟会会長として、岳南地域の砂防事業を推進するとともに、令和3年からは、全国治水砂防協会静岡県支部長を務めるなど、多年にわたる、砂防事業の推進に大きく貢献したことが認められ、今回の受賞となりました。



広島県で市町長等砂防関係事業県外視察を実施

8月22日(木)～24日(土)に、当支部の市町長等砂防関係事業県外視察を広島県(広島市、廿日市市)で実施し、市町長15名が参加されました。参加者からは、「土砂災害のおそろしさを実感し、砂防の重要性を再認識できた。来年もぜひ参加したい。」などの御意見をいただきました。



令和6年度 補正予算成立

12月17日(火)、令和6年度補正予算が参議院本会議で可決、成立しました。本県の砂防関係事業では、対前年度比1.19倍の41.4億円が内示され、令和6年度の最終予算では、対前年度比1.12倍の73.4億円を確保しました。今後、速やかに工事等を発注し、防災・減災、国土強靱化の推進を図ってまいります。

(予算のポイント)

- ▶ ハード対策は、「湊北沢砂防堰堤(賀茂郡南伊豆町)」など101箇所を実施し、「伊佐布坂井沢急傾斜(静岡市清水区)」など5箇所を完成を前倒します。また、「清水川第2支川砂防堰堤(富士宮市)」など12箇所でも新規に事業着手します。
- ▶ ソフト対策では、土砂災害防止法に基づく土砂災害警戒区域等の2巡目の指定に向けて、高精度な地形情報により新たに抽出した候補箇所の基盤図作成と基礎調査を実施します。
- ▶ 盛土対策では、静岡市葵区杉尾・日向地区の行政代執行による盛土の安定性の確保に向けた工事を進め、令和7年度の完成を目指します。

国土交通省関係予算

単位:千円

事業細別		R5		R6	
		R5当初	R5補正	R6当初	R6補正
補助	砂防	722,000	356,500	1,091,000	385,000
	地すべり	137,000	73,000	90,500	71,400
	急傾斜	236,000	50,000	92,000	172,500
交付金	砂防	738,000	795,000	761,000	869,000
	地すべり	61,000	102,500	31,000	116,000
	急傾斜	1,055,000	912,800	811,000	1,273,550
	ソフト	58,000	897,000	24,300	1,150,000
	盛土	30,000	300,000	300,000	100,000
計		3,037,000 (1.01)	3,486,800 (1.10)	3,200,800 (1.05)	4,137,450 (1.19)
			6,523,800 (1.06)		7,338,250 (1.12)

※()は対前年度比

令和6年は全国第2位となる86箇所で土砂災害が発生(そのうち擁壁工等の施設効果を18箇所で確認!)

令和6年は8月～9月の台風第10号などにより、86件(土石流14箇所、地すべり3箇所、がけ崩れ69箇所)の土砂災害が発生し、住宅半壊2戸、一部損壊3戸など著しい被害が生じました。そのうち18箇所では防止施設が崩壊土砂を食い止める減災効果が確認されました。



土砂災害警戒情報の精度向上

静岡県と静岡地方気象台は、土砂災害警戒情報の発表基準をこれまでの約5km格子(メッシュ)から約1km格子(メッシュ)に細分化した運用を5月から開始しました。細分化による精度の向上により、市町の避難指示の発令や住民の早期避難に役立つことが期待されます。



神奈川県で市町等砂防担当職員現場研修を実施

11月22日(金)に、市町等砂防担当職員現場研修を神奈川県内で実施し、市町と県土木事務所の担当職員39名が参加しました。「まちづくり連携砂防等事業」を実施している横須賀市と逗子市に伺い、現場視察や立地適正化計画の改定などに関する意見交換を行いました。参加者からは、「砂防事業と立地適正化計画に関する関心が深まった」、「砂防と都市計画を結び付けた取組はとても重要だと感じた」などの感想が寄せられました。



砂防を学ぶ学生を対象に就職説明会を実施(砂防学会東海支部)

10月3日(木)に、静岡大学において、東海地区の大学で「砂防」を専攻している学生に対し、防災・減災や国土保全に関する仕事内容等を国・県・建設コンサルタントの担当者から紹介する就職説明会を開催し、学生など約30名が参加しました。学生にとっては官民の若手技術者と技術交流を深めるとともに、大学での学びがどのように社会につながるのかを考える良い機会となりました。



番外

静岡市葵区日向地区の砂防指定地内の不適切盛土に対して行政代執行を実施(12月12日)

※順番、枠の大小、写真の有無などについては、ニュースの大小を表しておりません。

全国治水砂防促進大会及び支部要望活動

11月14日(木)に、全国治水砂防促進大会が砂防会館で開催されました。

全国から、会員(市町村長)や国・都道府県の砂防事業関係者1,600名超が参加され、当支部からは20名の会員(うち11名が市町長本人)が出席されました。

大会は、森山裕会長の挨拶、草野愼一砂防部長の『「いのち」と「暮らし」と「みどり」を守る砂防』と題した講演に続き、中野洋昌国土交通大臣から祝辞をいただきました。その後、会員代表として、坂口茂石川県輪島市長と米田徹新潟県糸魚川市長から意見発表が行われました。最後に、高知県津野町長の池田三男副会長から大会提言があり、満場一致で決議されました。

大会終了後、地元選出国會議員及び国土交通省へ、令和7年度予算とともに強靱な国土づくりの取組に不可欠な財源の継続的な確保について要望活動を行いました。

お忙しい中、御出席いただきました会員の皆様には心より御礼申し上げます。



森山会長の挨拶



草野砂防部長の講演



中野国土交通大臣の祝辞



静岡県支部の要望

○地域住民の生命・財産と県土を守る砂防関係事業への特段の配慮

1. 直轄砂防事業の推進

■重点箇所

- 富士山砂防事業：富士山麓の火山砂防事業と火山噴火に対する防災対策
- 安倍川砂防事業：大谷山腹工、有東木地区砂防堰堤工群 等
- 狩野川砂防事業：松沢川砂防堰堤群、加殿地区砂防堰堤群 等

2. 直轄地すべり対策事業の推進

■重点箇所

- 由比地区地すべり対策事業：深礎杭、排水トンネル等

3. 県による土砂災害防止施設の整備と県・市町によるソフト対策の推進への支援・協力

■重点施策

- 社会生活や経済活動を支える地域の交通インフラや上下水道等のライフライン施設を保全する取組の推進
- 新たに公表された9,047箇所の土砂災害警戒区域の候補箇所の速やかな指定や地域の防災力を高める警戒避難体制の推進
- 新技術の活用等による既存施設のライフサイクルコストの縮減や老朽化対策の計画的な推進
- 砂防施設の整備や維持管理、災害対応等の砂防事業におけるDXの推進



細野豪志衆議院議員への要望活動



田中健衆議院議員への要望活動



平山佐知子参議院議員への要望活動



草野砂防部長への要望活動

参加会員

富士宮市、森町、南伊豆町、伊東市、熱海市、富士市、袋井市、湖西市、伊豆の国市、西伊豆町、函南町、静岡市、浜松市、三島市、藤枝市、御殿場市、伊豆市、東伊豆町、河津町、松崎町(20市町/35市町) ※太字は市町長が参加:11名

広島県の砂防関係事業等を視察

8月22日(木)から24日(土)に、会員(市町長)による砂防関係事業等県外視察として広島県(広島市、廿日市市ほか)を訪れました。須藤支部長(富士宮市長)を団長に、市町長が15名、県の森本交通基盤部長と下田・浜松土木事務所長、事務局を含め22名が参加されました。

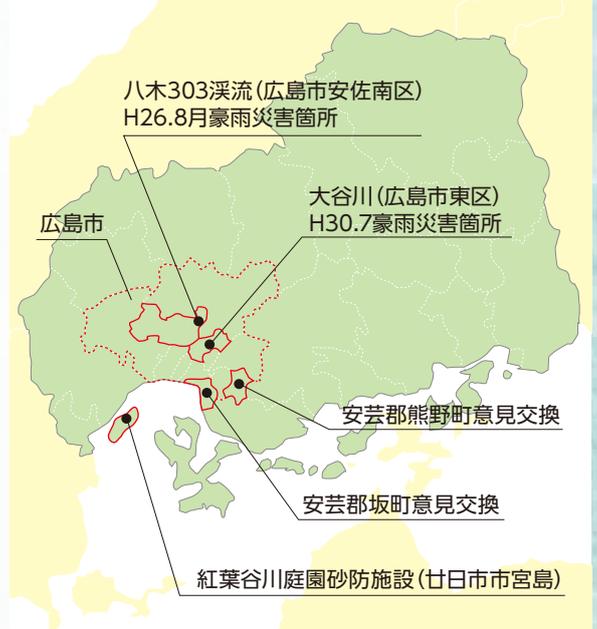
平成30年の豪雨により土砂災害による甚大な被害を受け、災害対応の復旧の陣頭指揮を執った安芸郡坂町の吉田町長と安芸郡熊野町の三村町長を訪問し、土砂災害発生時の対応や復旧について意見交換を行いました。山と海に面する地理的条件など、当県と類似する点が多いことから、予定時間を超過した活発な意見交換となりました。

広島市では、平成26年8月の豪雨で土石流被害を受けた八木303溪流と平成30年7月の豪雨で土石流被害を受けた大谷川の現場視察を行いました。広島市内特有の山裾まで広がる人家が、谷の出口で土石流により集中的に被災し、多くの被害が生じた現場に国土交通省が整備した砂防堰堤の規模の大きさに驚くとともに、砂防堰堤の下流に設置された遊砂池の機能などについて熱心な質問がありました。

また、平成26年豪雨による甚大な土砂災害を次世代に語り継ぐ「広島市豪雨災害伝承館」では、被災当時の状況や被災後の心のケアの重要性を認識しました。宮島内の紅葉谷川では、重要文化財に指定された景観と調和した砂防施設を視察しました。

参加された会員(市町長)からは、「土砂災害のおそろしさを実感し、砂防の重要性を再認識できた。来年もぜひ参加したい。」などの御意見をいただきました。

【砂防視察研修位置図】



吉田坂町長との意見交換



八木303溪流



広島市豪雨災害伝承館

日程

8月22日(木)

- ・安芸郡坂町長と土砂災害に関する意見交換(坂町災害伝承ホール)
- ・安芸郡熊野町長と土砂災害に関する意見交換(熊野町役場)

8月23日(金)

- ・広島西部山系砂防事務所管内の災害関連緊急事業の視察(広島市:八木303溪流、大谷川)
- ・広島市豪雨災害伝承館の視察(広島市)
- ・紅葉谷川庭園砂防施設の視察(廿日市市)

8月24日(土)

- ・広島市平和記念資料館他

参加市町等

富士宮市、伊豆市、森町、南伊豆町、川根本町、東伊豆町、小山町、袋井市、湖西市、牧之原市、河津町、松崎町、西伊豆町、函南町、長泉町(15市町長/35市町)
交通基盤部長、下田・浜松土木事務所長、砂防課(事務局)

令和6年の土砂災害の発生状況

令和6年の県内における土砂災害は、全国で2番目に多い86件(土石流14件、地すべり3件、がけ崩れ69件)が発生し、そのうち約2割にあたる18箇所で土砂災害防止施設が土砂を食い止めるなど、4年ぶりに「死者数ゼロ」を達成しました。

8月25日から9月2日までの台風第10号に伴う大雨では、土石流9件、地すべり1件、がけ崩れ36件の計46件が発生しました。このうち、規模の大きかった静岡市の土石流や熱海市のがけ崩れなど4箇所について、再度災害の防止を図る国の災害関連緊急事業に採択され、砂防堰堤や法枠工を緊急に整備し、県民の安全と安心を確保いたします。

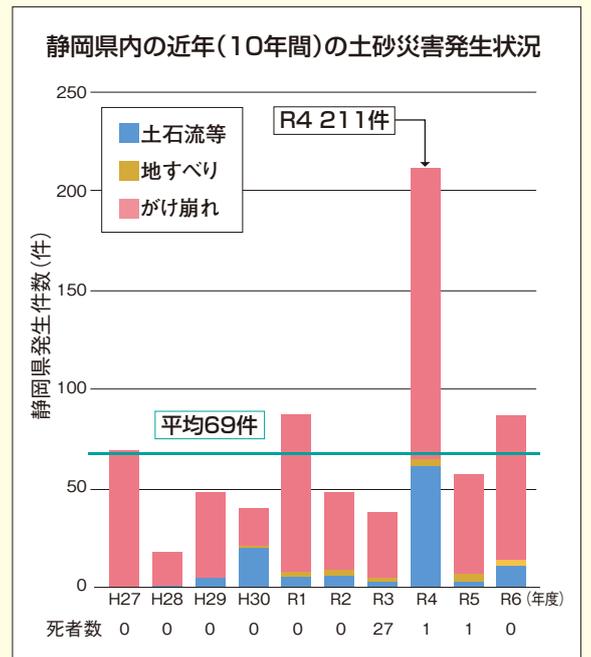
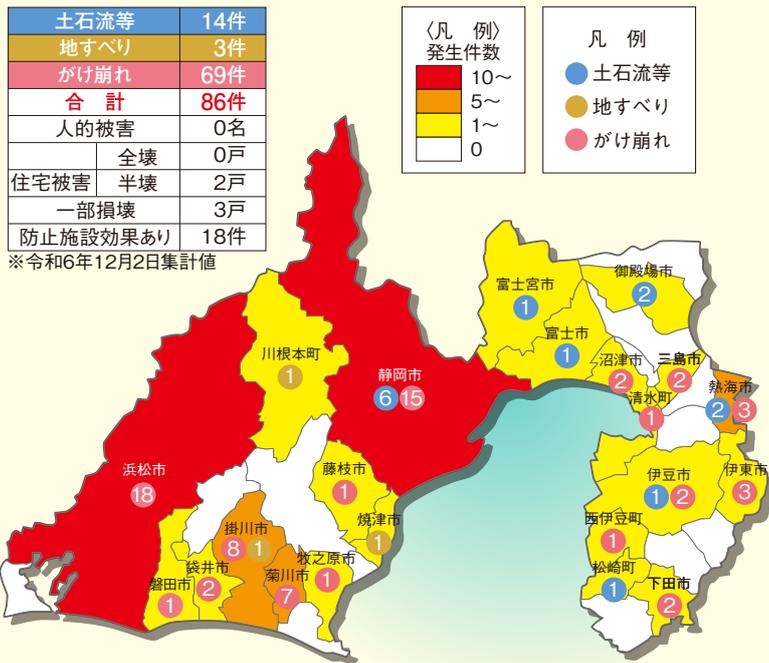
この他、災害の規模や被害状況、緊急度に応じて国の災害復旧事業や交付金事業で対応するものが6件、県単事業で対応するものが15件、残る61件は道路や治山など他機関、または市町等が対応します。

令和6年 土砂災害の発生状況(国交省所管)

種別	令和6年														計
	3月1日 3月29日	4月4日 4月9日 4月17日	5月7日	5月13日	5月28日	6月18日	6月22日	6月25日 ~ 6月28日	7月1日	7月16日	8月23日	8月25日 ~ 9月2日	11月2日		
発生日	降雨	降雨	降雨	降雨	降雨	降雨	降雨	降雨	降雨	降雨	降雨	台風第10号	降雨		
原因	降雨	降雨	降雨	降雨	降雨	降雨	降雨	降雨	降雨	降雨	降雨	台風第10号	降雨		
土石流等	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	9	2	14	
地すべり	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	3	
がけ崩れ	2	3	1	2	2	9	1	6	0	4	2	36	1	69	
計	2	4	1	2	2	11	1	7	1	4	2	46	3	86	
施設効果	0	1	0	0	1	4	0	2	0	0	0	10	0	18	

土砂災害発生位置図

※数字は発生件数



土砂災害の発生状況写真



災害関連緊急事業の採択状況(台風第10号)

令和6年8月から9月の台風第10号により発生した土砂災害のうち、土砂災害の規模が大きく、次期降雨によってさらなる被害が発生するおそれのある箇所について、再度災害を防止するために、緊急的に砂防堰堤等の土砂災害防止施設を整備する災害関連緊急事業が国に採択されました。今後、詳細設計や用地の取得等を早急に進め、令和7年1月の工事発注を目指します。

【災害関連緊急事業】

事業名	箇所	被害状況	事業内容	事業費	採択日
災害関連緊急砂防事業	静岡市葵区慈悲尾	市道等への土砂流出	堰堤工	約310百万円	R6.10.11
災害関連緊急傾斜地崩壊対策事業	熱海市西熱海町	住宅半壊(1戸)市道等への土砂流出	法枠工	約60百万円	R6.10.30
	熱海市下多賀	住宅一部損壊(1戸)	法枠工	約66百万円	
	静岡市葵区内牧	倉庫損壊(1軒)河川への土砂流入(浸水被害)	法枠工	約64百万円	
合計 4箇所				合計約500百万円	



静岡市葵区慈悲尾の市道への土砂流出状況



熱海市下多賀の斜面崩壊状況(住宅一部損壊)

土砂災害防止施設の施設効果

令和6年に発生した86箇所の土砂災害のうち、約2割にあたる18箇所において、県が国土強靱化の関連予算等で整備した砂防堰堤や急傾斜地崩壊防止施設、近年緊急的に実施した堰堤の除石箇所において、土砂を食い止め、人家や下流域への被害を防止する施設効果を発揮しました。

効果事例写真



がけ崩れ 下田市西本郷

6月18日豪雨



令和5年8月 除石完了

土石流を捕捉



土石流 静岡市駿河区青沢

台風第10号

土砂災害防止施設の施設効果一覧

No	現象	月日	土砂捕捉量	場所	指定地名等
1	土石流等	4月9日豪雨	約120,000m ³	富士宮市上井出	大沢川遊砂地
2	がけ崩れ	5月28日豪雨	約5m ³	賀茂郡西伊豆町田子	田子南山
3	がけ崩れ	6月18日豪雨	約25m ³	菊川市高橋	南新道
4	がけ崩れ		約100m ³	下田市西本郷	西本郷1丁目
5	がけ崩れ		約1m ³	下田市須崎	須崎
6	土石流等		約50m ³	賀茂郡松崎町雲見	上の沢砂防堰堤
7	がけ崩れ		約10m ³	浜松市天竜区只来	只来
8	がけ崩れ	6月28日豪雨	約10m ³	浜松市浜名区葭本	葭本
9	がけ崩れ		約500m ³	浜松市天竜区渡ヶ島	渡ヶ島落石
10	がけ崩れ	台風第10号 8月25日～ 9月2日	約30m ³	浜松市中央区白洲町	横砂東町
11	土石流等		約2,000m ³	静岡市駿河区青沢	殿谷川砂防堰堤
16	土石流等		約2,000m ³	静岡市葵区油山	油山川
12	がけ崩れ		約10m ³	浜松市中央区和地町	和地中渡谷
13	がけ崩れ		約10m ³	浜松市中央区古人見町	古人見中組
14	がけ崩れ		約10m ³	静岡市清水区横砂東町	横砂大平山
15	がけ崩れ		約20m ³	菊川市小沢	小沢
17	土石流等		約200m ³	熱海市熱海	熱海
18	土石流等		約1,000m ³	富士市鵜無ヶ淵	鵜無ヶ淵

須藤秀忠支部長(富士宮市長)が中部地方整備局長表彰を受賞!!

7月16日(火)に、愛知県名古屋市のホテル名古屋ガーデンパレスにおいて、中部地方整備局表彰式が行われ、当支部の須藤支部長(富士宮市長)が建設事業関係功労者表彰(局長表彰)を受賞されました。

須藤支部長は、市長就任後、富士治山治水期成同盟会会長として、多年にわたり県岳南地域の砂防事業を推進するとともに、令和3年5月からは全国治水砂防協会静岡県支部長を務め、会員である県内の市町長等の土砂災害防止対策に関する理解を深め、砂防関係事業の普及発展に多大な尽力をされたことが評価され、今回の受賞となりました。

今後も全国治水砂防協会静岡県支部では、須藤支部長を中心に、砂防事業の促進や土砂災害の啓発活動を行い、県民の安全・安心の確保に寄与してまいります。



表彰式(須藤支部長は右側)



受賞者の集合写真(須藤支部長は左から2番目)

市町等砂防担当職員現場研修を開催

11月22日(金)に、市町等砂防担当職員現場研修を市町と県土木事務所の担当職員39名の参加により、「まちづくり連携砂防等事業」を積極的に実施している神奈川県横須賀市と逗子市で実施しました。

「まちづくり連携砂防等事業」とは、市町の都市部局が作成する立地適正化計画に基づいて、住居や基礎的な公共インフラを集約しようとする地域を優先的に保全し、防災に配慮したまちづくりを促すことを目的とした事業です。急傾斜地崩壊対策事業では今まで県では実施していなかった「かけ高さ5m以上10m未満」の箇所についても、県施行が採択されます。

当事業を活用した工事現場を視察後、横須賀市と逗子市の担当職員と立地適正化計画や事業化に関する意見交換を行いました。参加者からは、「砂防事業と立地適正化計画に関する関心が深まった」、「砂防と都市計画を結び付けた取組みはとても重要だと感じた」、「全国的にも先進的な事例であり、とても参考になり、計画に盛り込みたい」などの感想が寄せられました。

参加市町等

≪16市町≫

静岡市、浜松市、沼津市、三島市、伊東市、島田市、富士市、磐田市、掛川市、藤枝市、裾野市、伊豆市、御前崎市、伊豆の国市、南伊豆町、清水町、

≪3土木事務所≫

下田土木事務所
沼津土木事務所
富士土木事務所



まちづくり連携砂防等事業現場説明
(神奈川県横須賀土木事務所)



横須賀市との意見交換会

沼津市

沼津市は、大正12年(1923年)7月1日、静岡県内では、静岡市、浜松市に次ぐ3番目の市として誕生し、周辺の町村との合併を重ね、令和5年(2023年)に市制施行100周年の節目を迎えました。

温暖な気候に恵まれた沼津市は、富士の雄姿を背に、駿河湾、千本松原、香貫山、街の中心部を流れる狩野川といった四季折々にも美しい豊かな自然を身近に数多く持ちあわせています。

豊かな自然が生み出す様々な特産物やイベントも多くの人を惹きつけています。アジの干物やタカアシガニに代表される海産物、温暖な気候と豊かな土壌に育まれるお茶やみかんなどの農産物、愛鷹山のふもとで飼育される牛や豚などの畜産物は多くの人に愛されています。沼津市では、美味しい沼津の特産品を多くの人に知っていただくために、情報発信などに取り組んでおり、沼津市のふるさと納税の返礼品としても大変人気を博しています。また、全国的にも珍しい市街地での花火大会として東海地区随一の規模を誇る狩野川花火大会を毎年開催しており、市内外より多くの方が観覧に訪れ、賑わいを創り出しています。



狩野川から見る富士山



狩野川花火大会



タカアシガニ

沼津市は、愛鷹山や香貫山などの豊かな自然がある反面、土砂災害警戒区域が380箇所指定されていることから、土砂災害ハザードマップを作成し、市民へ危険箇所の周知を図っています。また、土砂災害に関する出前講座も常時受け付けており、市の職員が講師として説明に何うなど、防災活動の啓発に努めています。

歴史探訪

災害関連緊急事業

令和4年の県内における土砂災害発生件数は、台風第15号を中心に、平成以降で最も多い211箇所です。土砂災害が発生し、全国最多となりました。また、今年も全国第2位となる86箇所です。土砂災害が発生し、近年の激甚化・頻発化する大雨により砂防事業の重要性が一段と高まっています。

土砂災害が発生し、今後の降雨により人家等への更なる被害の拡大が見込まれる場合は、再度災害防止のため、国の補助事業である「災害関連緊急事業(以下、災関事業)」を活用して、砂防堰堤等の土砂災害防止施設を整備しており、今年9月の台風第10号で発生した4箇所の土砂災害についても、10月末までに事業採択され、がけ崩れについては令和7年の梅雨期までに工事完成を目指しています。

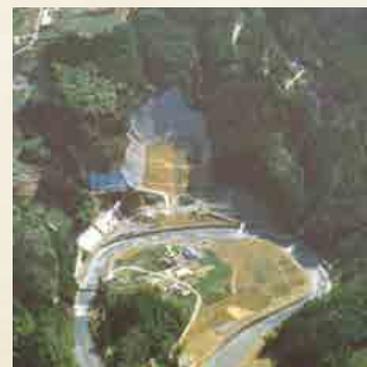
昭和62年に創設された災関事業は、現在までに県内で230箇所を超える箇所で実施し、被災した地域の安全・安心に貢献しています。

浜松市天竜区の「中羽根地区」では、昭和43年以降地すべりが活性化し、昭和57年には連続雨量611mmの降雨により、推定5万㎡の崩壊性地すべりが発生し、地すべり直下の熊切川を200mにわたって一時堰き止めました。昭和62年には二回にわたる連続雨量約250mmの降雨により、地すべりが拡大し、約180万㎡の想定移動土塊量により、河川の堰き止めや対岸の人家への影響が懸念されたことから、抜本的な地すべり対策を実施するために本事業を活用しました。排水トンネル工やRCセグメント集水井工など約20億円の地すべり対策として、県内有大数の大工事を実施しました。

被災から1年10か月後の平成元年3月に工事は完了し、現在でも中羽根地区の安全の確保に大きく寄与しています。



昭和57年「中羽根地区」の地すべり状況



平成元年工事完成

砂防学会東海支部主催の就職説明会が開催される

10月3日(木)に、東海地区の大学で「砂防」を専攻している学生に対し防災・減災や国土保全に関する仕事内容等を国・県・建設コンサルタントの担当者から紹介する砂防学会東海支部主催の就職説明会が静岡大学で開催され、約30名が参加されました。

公務員の一日のスケジュールに関する質問や進路決定の質問など、参加者自身の将来設計に関する話し合いが行われ、熱心な説明会となりました。

説明会の後には、若手技術者による研究発表が行われ、学生にとっては官民の若手技術者と技術交流を深めるとともに、大学での学びがどのように社会につながるのかを考える良い機会となりました。



静岡大学今泉教授の開会挨拶



県砂防課の説明

草野砂防部長による砂防講演会が開催される(伊豆市制20周年記念事業)

10月3日(木)に、市制20周年記念事業として、伊豆市が国土交通省の草野砂防部長を招き、砂防講演会を開催しました。菊地伊豆市長、辛嶋沼津河川国道事務所長の挨拶に続き、草野砂防部長から『命と暮らしを守る砂防事業～災害死者ゼロを目指す～』と題した講演がありました。

自治会長や防災指導員、行政関係者など約210人が参加され、砂防の歴史、能登半島の地震被害状況に加え、ハード・ソフト対策の重要性や今後の砂防事業のあり方などについて、映像を交えた説明があり、参加者は砂防事業の重要性をより一層認識することができました。

また、講演会の後には、松沢川第1砂防堰堤の現場視察が行われました。



草野砂防部長による講演

ジオフォーラム2024 in 静岡が開催される

11月8日(金)に、静岡県地質調査業協会主催(全国治水砂防協会静岡県支部後援)による「ジオフォーラム2024 in 静岡」がしずぎんホールユーフォニア(静岡市)で開催され、約170名が参加されました。

県内コンサルタントや県の担当者により、アンカー工の健全度調査や地すべり地下水の解析などの技術発表が行われました。また、小山真人静岡大学名誉教授から「火山災害の予測と対策

特に富士山の現状について」と題した特別講演があり、プログラムの最後には、中澤博志静岡理科大学教授から講評をいただきました。



技術発表の様子

由比地区地すべりで親子見学会が開催される

7月21日(日)に、国土交通省富士砂防事務所、県、静岡市の共催で「令和6年度子ども見学会～由比地区直轄地すべり対策事業着手20年・七夕豪雨災害から50年～」を開催しました。

今年度は、国土交通省による由比地区直轄地すべり対策事業着手20年の節目であることから、例年より規模を拡大して開催され、18組38名の親子に参加されました。

県の由比地すべり管理センターで土屋智静岡大学名誉教授による講義や県職員による展示物を用いた当地区の地すべり対策工事等の説明を実施しました。また、国の工事現場では、通常入ることができない大規模な深礎杭や排水トンネルの中を見学しました。

参加者からは「いつも気になっていた工事現場の中に入り、様子をみることでとても興味深かった」、「安全に配慮していただきながら、貴重な現場を見せていただき、多くの方が関わっていることを学びました。ありがとうございました」などの声が聞かれました。



土屋智静岡大学名誉教授による特別講話



県職員による説明

令和6年度 東海地区直轄砂防事務所長・砂防主管課長会議及び 令和6年度 東海地区治水砂防協会支部長・砂防課長合同会議が開催される

11月18日(月)に、東海地区直轄砂防事務所長・砂防主管課長会議が、三重県桑名市内で開催され、国土交通省砂防部保全課菅原課長補佐をはじめ、中部地方整備局及び管内の直轄砂防事務所長、長野県を加えた東海地区の砂防主管課長が出席しました。

会議では、菅原課長補佐から「砂防行政に関する最近の話題」の説明があり、続いて本省からの議題に関する討議及び各機関からの提案議題の討議が行われました。

また、11月28日(木)に、東海地区治水砂防協会支部長・砂防課長合同会議が三重県桑名市内で開催され、東海地区の砂防協会等の支部長(市町長)と砂防課長が出席しました。

いなべ市の小滝川の砂防堰堤の視察に続き、会議では来賓の国土交通省砂防部草野砂防部長と(一社)全国治水砂防協会の大野理事長から話題提供をいただくとともに、各支部の活動報告や熱心な意見交換が行われ、大変有意義な会議となりました。



直轄事務所長・砂防主管課長会議



支部長・砂防課長合同会議(小滝川)

フィジー国大臣が静岡市内の土砂災害現場を視察

10月24日(木)に、フィジー村落離島開発・災害管理大臣等5名がJICA研修で静岡市内の土砂災害対策現場を訪れました。

「井宮町a」急傾斜地崩壊対策事業(静岡市葵区井宮町)と令和4年に甚大な土石流被害を受けた「油山川」災害関連緊急砂防事業(静岡市葵区油山)の視察では、県職員の説明に熱心に耳を傾けるとともに、土砂災害防止施設の計画や構造に加え、警戒避難体制等のソフト対策について活発な意見交換を行い、友好を深めました。



急傾斜事業の説明(井宮町a)



土石流現場での説明(油山川)



集合写真(油山川)

募集・お知らせコーナー

土砂災害防止に関する絵画・作文の応募への御礼

6月1日～9月15日の間、県内の小中学生の皆さんに土砂災害及びその防止についての理解と関心を深めていただくため、作品を募集したところ、多数の応募をいただきました。誠にありがとうございました。なお、入選発表及び表彰式は令和7年3月を予定しています。

【応募状況】

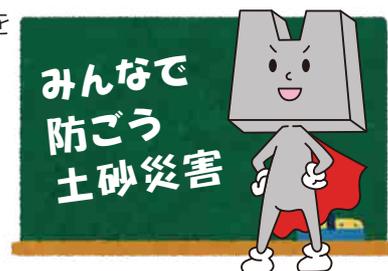


部 門	小学生	中学生	計
絵 画	3	17	20
作 文	2	2	4
合 計	5	19	24

砂防及び地すべり防止講習会のお知らせ

砂防及び地すべり対策業務を担当する職員の実務並びに関連知識の習得を通じ、今後の円滑な業務の遂行に資するため、講習会が開催されます。

日 時：令和7年2月13日(木)・14日(金)
 会 場：砂防会館 別館 シェーンバッハ・サボー利根会議室
 参加費：4,000円
 主 催：一般社団法人 全国治水砂防協会 TEL (03)3261-8386
 問合せ先：全国治水砂防協会静岡県支部 TEL (054)221-3042



令和7年 砂防関係の 主な行事



●支部活動予定

- 5月22日(木) 静岡県支部役員会および第80回通常総会(静岡市内)
- 6月1日(日)～7日(土) かけ崩れ防災週間(県内各市町)
- 1日(日)～30日(月) 土砂災害防止月間(県内各市町)
- 1日(日)～30日(月) 急傾斜地パトロール(県内各市町)
- 6月上旬 土砂災害・全国防災訓練(県内各市町)
- みなで防ごう土砂災害(青葉シンボルロード)
- 8月28日(木)～30日(土) 市町長等砂防関係事業県外視察(宮城県)
- 11月13日(木) 砂防関係事業促進要望(議員会館等)
- 11月予定 市町等砂防担当職員現場研修

●協会本部活動予定

- 2月13日(木)・14日(金) 第65回砂防および地すべり防止講習会(砂防会館)
- 5月29日(木) 第89回通常総会(砂防会館)
- 10月23日(木)～24日(金) 砂防現地視察と討論会(場所:未定)
- 11月13日(木) 全国治水砂防促進大会(砂防会館)



【表紙写真】

上空からの富士山

(撮影地:富士宮市)

写真提供:静岡県観光協会

※砂防協会では表紙に掲載する静岡県内の写真を募集しています。皆様の御協力をお願い申し上げます。詳しくは、下記までお問い合わせ下さい。

編集・後・記

慶賀光春

お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。
 本年の干支でもある蛇は、脱皮を繰り返して成長することや、その生命力の強さから「復活」「再生」「長寿」を象徴し、吉兆を表す縁起がいい生き物とされています。巳年にちなみ、自己研鑽に努め、成長の機会となるよう精進してまいります。輝かしい新年を迎え 皆様の御健康と御繁栄を心よりお祈り申し上げます。

全国治水砂防協会静岡県支部 小杉祐子

砂防だよりは砂防課ホームページでご覧いただけます。 <http://www.pref.shizuoka.jp/machizukuri/kasensabo/index.html>



第215号 発行日：令和7年1月1日

編集・発行:全国治水砂防協会静岡県支部

〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 静岡県交通基盤部河川砂防局砂防課内
 TEL(054)221-3042 FAX(054)221-3564 E-mail: sbkk_s@yahoo.co.jp

